

第1回 王寺町男女共同参画計画等策定委員会

日時:令和3年12月1日(水)

午後6時00分から

場所:王寺町地域交流センター

フリールーム(3)

出席者:平井町長、

委員 音田委員長、岡井副委員長、辻岡委員、森村委員、東林委員、赤松委員、  
有馬委員、今井委員、前田委員、西橋アドバイザー、  
事務局 前田地域整備部参事、堀内地域交流係長、伊藤、株式会社名豊

欠席者:池島委員

次 第:

1. 開会
2. 委嘱状の交付
3. 町長あいさつ
4. 出席者紹介
5. 策定委員会の設置について  
委員長・副委員長の選出
6. 委員長・副委員長あいさつ
7. 王寺町男女共同参画計画等策定の諮問について
8. 王寺町男女共同参画の取組について
9. 案件
  - (1) 今後の審議内容及びスケジュールについて
  - (2) 王寺町男女共同参画、女性の活躍推進に関する意識調査(案)について
10. その他(連絡事項等)

1. 開会

2. 委嘱状の交付

(町長より委嘱状交付)

3. 町長あいさつ

4. 出席者紹介

事務局:(名簿順に自己紹介)

(事務局紹介)

5. 策定委員会の設置について委員長・副委員長の選出

(委員長:音田委員・副会長:岡井委員)

6. 委員長・副委員長あいさつ

委員長:(音田委員長あいさつ)

副委員長:(岡井副委員長あいさつ)

7. 王寺町男女共同参画計画等策定の諮問について

(平井町長から音田委員長に諮問)

男女共同参画は、総合計画で目標も数値化・計画化し、既に女性の就業や子育て環境を意識した施策は実施している。しかし、実施計画として体系化された男女共同参画計画は未策定であったため、策定委員会を設けて、固定的な男女の役割分担意識の払拭を普及し定着させる取組や政策・方針決定過程への女性の管理職比率の向上などの傾注すべき課題を整理し、王寺町の特徴に則した男女共同参画計画の策定を諮問

8. 王寺町男女共同参画の取組について事務局:(説明)

委員長:事務局の説明に対し、ご意見、ご質問を求める。

事務局:現在、王寺町の男女共同参画に関連する取組をグルーピングしたものを提示し、今年度予定しているメニューも提示。

委員長:いろいろな分野で女性の方への取組があることを確認。

事務局:実際に2018年9月号の「王伸」という広報誌が町内に配られているのですが、王寺町の女性の活躍という特集にかなりのページを割いていただきました。

委員 :既にある取組のグルーピングをみて、現状課題や、どこまで進んでいるといった進捗状況の指標の確認を求める。

事務局:ワーク・ライフ・バランスといった啓蒙啓発は、手が届いていない部分がある。事業が先行しているところがありますが、事業体系ができていません。今の王寺町の現状分析をしっかりして、数値目標や優先順位、その部署の役割分担を、整理していきたいと思っている。町民のニーズ・今後の方向性が合っているのかという点を、委員の皆様のお知恵をいただきながら作っていきたい。

委員：計画策定をするときには非常に広げがちだが、無理な計画を立てず、無理な目標ではなく実現可能な目標を立てて、少しずつ進めていくことが大事だと思います。評価するときも、量的な評価だけではなく質的なことをしっかりと評価できればよいと思います。

## 9 案件

(1) 今後の審議内容及びスケジュールについて

委員長：今後の審議内容及びスケジュールについて、事務局から説明を求める。

事務局：(説明)

委員長：説明について、ご意見、ご質問有無確認。次に移る。

(2) 王寺町男女共同参画、女性の活躍推進に関する意識調査(案)

委員長：(2) 王寺町男女共同参画、女性の活躍推進に関する意識調査(案)について、事務局から説明を求める。

事務局：(説明)

委員長：県の計画を土台にしながら王寺町でつけ加えたところがあるということでした。各委員の意見、質問を求める。

委員：王寺町独自の設問の有無を確認。

事務局：コロナ関係があります。特に避難場所の運営や防犯面といったところも設問で聞きたいというところも入れさせていただいております。また、女性の就業については力を入れておりますので、フリーランスな働き方や個人事業主の働き方、そういった方々のニーズもくみ取っていきたいと考えております。子育て世代についても、共稼ぎ家庭もかなり多いです、そういった方をサポートするためにはどのような子育て支援をするとよいのかも聞いていきたいと思っております。これはあくまでもたたき台ですのである程度の時間を決めてみなさんのご意見をいただいてここに反映するようなかたちで考えております。

委員：これは作成の1つのモデルですか。

事務局：あくまでも素案というかたちです。これを無作為で2,000人の方を対象にして、ここからある程度分析をさせていただいて、骨子案、成果指標をこれからつくっていくというかたちです。

委員：アンケートの回収率が非常に気になる。どれくらいの回収率を目指しているのか。

事務局：50%は目指したい。かなりボリュームが多いという部分もあると思います。行政の聞きたいところ、事業に反映したいところと、アンケートに答えているところとマッチングはどうかというところは危惧している。その辺も踏まえてご意見をいただきたい。

委員：県をベースに作っているのであれば、町で加えたところを説明していただければよい。

事務局：町でつけ加えた部分は、育児休業や介護休業の中での家庭での役割分担、コロナ禍での働き方の変化、災害対応での男女共同参画の部分についての3つです。

事務局：町では、このようなアンケートを取って男女共同について全体把握をしておりません。その辺の部分も今回したいと思っております。それにプラス、子育て支援や就業など、その辺の住民さんの意見というのでも聞かせていただいて、今後、体系化して事業化したい。

委員長：コロナ関連の設問が多いとの感想。

事務局：コロナの関係は、他の自治体のアンケートでは、それ以前のものでありませんでした。かなり生活の変容というのはあると思います。テレワークにシフトするなど、働き方が変わっているという事実もありますし、子育て支援のところでもご苦労されているところは多々あると思います。フリーランスで働いている方、個人事業主さんもかなりご苦労されているとは聞いていますので、そういったお声も聞きたい。

委員：子育て世代以外のアンケートは必要なのか。

事務局：年齢層ですが、子育て世代の年齢層なので、介護といった問題も新たに出てくると思いますので、家庭生活を営んでいただく中で男女の役割、固定観念など、そういうところについてはもう少し年齢層を広げて、20歳の学生さんの意見も聞かせていただきたいと考えております。

#### 10 その他(連絡事項等)

委員長：その他について、事務局から連絡を求める。

事務局：(委員会の議事録の公開について説明)

事務局：ホームページに載せます。みなさんが興味を持っておられることなので、もちろん経過についてはいろいろなところで発信させていただきます。

委員長：特にご意見はございませんか。それでは、その方向でお願いします。

事務局:次回は令和4年2月下旬を予定しております。アンケートの結果について、骨子案にまとめる作業をして第2回の委員会で検討する。王寺町男女共同参画計画等第1回策定委員会を閉会。